

求人票の気になる項目(選考方法編)

進路相談室(進学・就職とも)には先輩方が受験した際の試験内容や面接の質問内容などを記した「受験報告書」というものがあります。自分の希望する学校や会社の試験でどんなことを聞かれるのか、筆記試験ではどんな問題が出るのか確認することができます。就職試験については、求人票の裏に応募や選考について記載があります。

選考方法	① 面接	② 適性検査	③ 学科試験 (一般常識 国語 数学 英語 社会 理科 作文 その他 [])	④ その他 []
------	------	--------	---	-----------

①面接

高校生の就職試験は、応募書類(履歴書&調査書)だけで合否を決めず、必ず一度は面接をする決まりになっています。会社によっては面接のみで採用を決定するところや面接官を変えて数回実施するところもあります。

面接対策には事前の練習が欠かせません。就職希望者については3月実施予定のガイダンスで基礎を学びましょう。

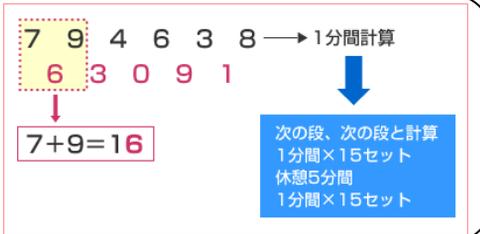


②適性検査

仕事、あるいは会社に対する適性を見るための検査です。現在の3年生が受験した企業で実施された適性検査には次のようなものがありました。気になる求人を見つけたら、裏面の選考方法も確認しておくこと。適性検査も事前に対策を取ることが重要です。

実施企業の多かった順	
1	SPI
2	クレペリン検査
3	性格検査
4	DPI
5	CUBIC
6	TAP
7	TAPOC2
8	ピンボード

簡単な一桁の足し算を1分毎に行を変えながら30分間行う検査。全体の計算量・1分間の計算量の変化の仕方と誤答から、能力面と性格や行動面の特徴を測定する(内田クレペリン検査・検査方法より)



<DPI> 「赤信号で渡ったことがありますか？」などの簡単な質問に「はい・いいえ」のどちらかを選択するもの。

<CUBIC>

「あきらめが早いかな？」などの性格に関する質問に「とてもそう思う・そう思う・少しそう思う・いいえ」のどれかを選択するもの。

<TAPOC2>

4択から5択のマークシート方式。(例) 同じ意味のものを①~⑤から選びなさい。

<TAP>

マークシート方式で、国語(27問10分間)数学(21問15分間)と性格検査(120問15分間)が実施される。会社により科目の追加がある。中学校や高校までの学習内容が出題される。(わりと難しいらしい)

③学科試験

企業によって出題レベルは様々です。一般常識も学科も「高校3年生が知っているべき内容・レベル」だと考えてください。学力の他に、質問に対する正しい答え方ができるか、適切な漢字を使用することができるかという面も判断されます。SPIなどの問題集を1冊繰り返し解いてみるのも対策になると思われます。書店には対策本もたくさんあります。また、新聞や本を読んでいるか、世の中の動きに目を向けているかがわかる「時事問題」などにも慣れておくべきです。

④作文

作文が苦手だという人も多いですが、自分の考えを簡潔にまとめて人に伝えることは、これからとても重要になります。また、文章作成能力の他に、正しい漢字を知っているか、字を丁寧にきれいに書けるか、ということも同時に判断されています。作文は3月に「作文ノート」を配布するのでそれに沿って練習をし、先生方に添削をしていただき振り返ることが大切です。

「勝負を決めるのは準備」 by 本田佳佑